



Student Code of Conduct ハンドブック



ウォールドレーク統合学校
学校副教育長
改訂版 10月 2022

学生行動規範

Walled Lake Consolidated School District

は、前向きで秩序ある安全な学校環境の中で、生徒一人一人の学習の可能性を伸ばすことを信条としています。生徒一人ひとりがその可能性を發揮できるよう、学校には教育や学習活動の妨げとなるような混乱がないことが必要です。生徒、保護者、職員は、学習を奨励し、個人の可能性を伸ばす行動を促進する責任を負わなければならない。学校コミュニティの各構成員の権利を守るために規律手続きが必要であるのと同様に、生徒、保護者、職員の間には協力と共通の決意があって初めて、効果的な生徒の規律が達成されるのだ。学区は、無秩序で無礼な個人を学校から排除する権利を持っています。

生徒の行動規範は、ウォールドレイク教育委員会の公式な方針宣言です。学生行動規範の規定は、幼稚園児から12年生までのすべての生徒に適用されます。年齢や成熟度の違いは認識され、介入策や懲戒処分を決定する際に考慮されます。

学生行動規範は、以下の学生の状況において有効である。

1. 生徒が学校または学校主催の活動（バスでの移動も含む）のために移動する場合。
2. 生徒が地区の敷地内または敷地内にいる場合。
3. 生徒が学校主催の活動に参加するとき（場所を問わない）。
4. 生徒が学校の通信ネットワーク、アカウント、その他のサービスを利用する場合。
5. 生徒が学校での教育過程に重大な支障をきたす可能性のある非行行為に地域社会で従事している場合。

学校関係者の皆様には、ぜひ、このサイトを知っていただきたいと思います。

学生行動規範。

INDEX

地区

ディストリクト・ミッション・ステートメント	4
District Belief Statements	4
いじめ防止に関する方針	5
アカデミック・インテグリティ	6
ロッカーおよびロッカーの中身の検索	6
地区共通ドレスコード	7
介入策と懲戒処分	8
Student Athlete Handbook	8
交通ハンドブック	8

違反行為

学生行動規範の違反	9
21 報告すべきインシデント	9
教師による生徒の停学処分	9
違反 - レベル I	10
レベルI懲戒手順	10
違反行為 - レベルII	11
レベルII懲罰手順	13
違反 - レベル III	14
レベル III 懲罰手順	15
違反 - レベル IV	16
レベル IV 懲罰手順	16
復職の申込み	17

停学・退学

10 学校日以下の懲戒処分または停学処分の場合の手続き	17
長期停学（11 日以上）または退学処分の手続き	
.....	
入学前の不祥事	19

付録

Teacher-Imposed Student Suspension Form A (Submit to School Principal)	21
Teacher-Imposed Student Suspension Form B (Parent/Teacher Conference Report)	22
Academic Integrity Policy and Contract	23
Academic Integrity Policy and Contract Consequences	24
携帯電話、デジタルイメージング機器、その他の個人用電子機器の使用状況	25
州標準テストのための WLCSD 電子機器使用ポリシー	
.....	
テクノロジー利用規定とガイドライン	28

ディストリクト・ミッション・ステートメント

Walled Lake

Schoolsの使命は、保護者や地域社会との協力のもと、すべての生徒が思いやりと責任感と知識のある市民となるように、アメリカで最高の教育システムになることです。

ちくしんじょうほう

以下の信念は、学生行動規範を含む、私たちのすべてのポリシーとプログラムの基本となっています。

学習環境

- 身体的・心理的安全性は、学習にとって非常に重要です。
- 個人は自分の行動に責任を持つ。
- 生徒とスタッフは、尊敬、自己価値、自己表現を奨励するために、肯定的なロールモデルやメンターを持つ必要があります。
- すべてのステークホルダーは、質の高い施設を利用する権利があります。

個人とグループの達成度

- 人はそれぞれ、ニーズや興味、学習能力を持っています。
- 成功はさまざまな経路をたどります。
- 学習は一生続くものです。
- 高い成果は、個人でもグループでも経験することができます。

コミュニティ

- 私たちは、グローバル社会の一員であり、多様性を尊重します。
- 学校は、保護者や地域社会との積極的なパートナーシップによって繁栄する。
- 学校のパブリックイメージは、地域社会の支持に影響します。
- 公立学校はアメリカ民主主義の礎である。

私たちの未来

- テクノロジーは、学習の質を高めるために不可欠なツールです。
- 変化には、困難と機会の両方があります。
- 明日も作るぞー

いじめ禁止教育委員会方針

一般的な場合。教育委員会は、改正教育法典第 1310b 条に基づき、学校におけるいじめを防止し、禁止することを約束する。本方針における「いじめ」とは、書面、口頭、身体的な行為、あるいは電子的な通信を通じて、直接的または間接的に 1 名以上の地区学生に害を与えることを意図した、あるいはそのようなことを合理的に知ることができるような、以下のような行為を指す。教育の機会、利益、またはプログラムを大幅に妨害すること、生徒に身体的危害の合理的な恐怖を与える、または精神的苦痛を与えることにより、教育プログラムまたは活動への参加またはそこから利益を得る生徒の能力に悪影響を与えること、生徒の身体的または精神的健康に実際かつ実質的に有害な影響を与えること、または学校の秩序ある運営を大幅に混乱、または妨害すること。本方針における「学校にて」とは、学校の敷地内、スクールバスやその他の学校関連車両内、学校主催の活動など、学校の敷地内で行われるか否かに関わらず、あらゆる場所を指します。「学校において」には、地区が所有または管理する電気通信アクセス機器または電気通信サービス・プロバイダーの利用が含まれる。

禁止事項教育委員会は、加害者の動機の如何にかかわらず、学校における地区生徒のいじめを禁止している。また、教育委員会は、学校におけるいじめの行為について、いじめの対象者、目撃者、その他信頼できる情報を持つ者に対する報復や虚偽の告発を禁止している。

報告・通知・調査地区の職員と生徒は、地区の生徒が学校でいじめを受けていると信じるに足る理由がある場合、校長または校長が指名した者に報告することが義務付けられている。いじめの報告を受けた校長またはその被指名者は、速やかに調査を行い、事実と責任の判断を含む要約書を作成し、必要であれば懲戒処分を開始し、地区のFERPAポリシーに則り、被害者と加害者の親または法的保護者にその結論を通知する。調査には、少なくとも、推定される被害者と加害者のインタビューと書面による供述が含まれます。被害者と加害者とされる人物の証言に大きな食い違いがある場合、調査には目撃者からのインタビューや供述書、文書情報がある場合はその確認が含まれます。校長は、その要約文書のコピーを地区の副校長に提供する。

実施する。

行政の規則。教育長は、この方針を実施するために必要な管理規則を、改正学校法典第 1310b 条と整合するように公布する権限を有し、指示される。

責任ある学校関係者各校舎の校長は、担当する学校に対してこのポリシーを実施する第一の責任を負います。

出版物教育長は、学校でのいじめを禁止するために、本方針に沿った地区の生徒行動規範を改正するよう指示される。また、教育長は、この方針と地区の学生行動規範を地区のウェブサイトに掲載するよう指示される。

報告すること。教育長は、確認されたすべてのいじめの事例とその結果（懲戒処分や送致を含む）を、毎年、教育委員会に報告する。

がくじゅつ

知識の追求と伝達において、生徒一人ひとりの成功に資する学問的環境を維持するため、ウォールドレイクの中等学校は、全生徒のための学業基準を定めています。私たちは、すべての生徒が強いリーダーとして、また生涯学習への挑戦に十分備えられる生徒として成長することを望んでいます。学問的誠実さを身につけることは、今日だけでなく、明日の個人的な成功のために非常に重要です。そのため、アカデミックインテグリティに関して、以下のような基準を設けています。

学生は、最高水準の人格的誠実さをもって行動することが期待されています。学生は、学業上の不正行為を禁止する規則を遵守し、誠実さに関する高い基準を破るような同調圧力に抵抗しなければなりません。学生は、学問的な期待や責任を果たすために誠実な方法をとることが期待されています。この手順や手続きについて質問がある場合は、いつでも教師、カウンセラー、または管理者に尋ねてください。学問的不正行為とは、不正行為、剽窃、または偽って成績を取得することをいいます。

Academic

Dishonestyとは、学業上の不正行為に関与することです。不正行為には、不正な援助や補助を実際に与えたり、受けたりすること、または、あらゆる形式の学業において不当な利益を実際に与えたり、受けたりすることが含まれますが、これらに限定されるものではありません。学生は、他人の言語、構造、アイデアおよび/または思考をコピーして、自分のオリジナル作品として表現することを含む盗作に関与してはならないものとします。

ロッカー検査

ロッカーは学校の所有物です

生徒に割り当てられたロッカーは、すべて学区の所有物です。いかなる場合も、学校はロッカーの独占的な管理を放棄することはありません。校長またはその被指名人は、すべてのロッカーまたは錠のすべての組み合わせを保管するものとします。生徒は、校長またはその指名する者の事前の承認なしに、ロッカーに鍵をかけることを禁じられています。

学校ロッカーの正当な使用

学校では、生徒の便宜を図り、一時的に使用するためにロッカーを割り当てています。ロッカーは、学校関係の教材や、上着、履物、身だしなみ用品、昼食など、許可された個人用品の収納にのみ使用します。生徒が学校に持ち込む前に、教育委員会の方針または学校長もしくはその指名する者によって特別に許可された場合を除き、生徒はロッカーを他の目的に使用してはならないものとします。生徒は、自分のロッカーの中身について単独で責任を負うものとし、校長またはその代理人が許可した場合を除き、ロッカーを他の生徒と共有したり、ロッカーの組み合わせを他の生徒に教えたりしてはならないものとします。

ロッカーの中身を探す

学校のロッカーとその中身を無作為に検査することは、校則違反の抑止、学校所有物の適切な維持管理、生徒と教職員の安全・安心の向上に良い影響を与えます。従って、理事会は、学校長またはその代理人が、予告なしに、保護者または生徒の同意なしに、いつでもロッカーとロッカーの中身を捜索することを許可するものとする。

学校当局が、生徒が違法な物品（銃器、武器、薬物など）、または生徒や他者の安全やセキュリティを脅かす物品、あるいは教育過程を混乱させたり妨害するために用いられる物品を所持している可能性があるとして合理的に疑いを持った場合、管理者はその生徒の個人および個人資産（鞆、カバン、財布、自動車などを含むがこれに限らない）を捜索することができます。可能な限り、すべての捜索は、成人の目撃者の立会いのもとで行われます。

学校長またはその被指名人は、ロッカーの捜索を行う際に、義務を負うことなく、法執行官の援助を要請することができます。学校長またはその被指名人は、捜索を監督するものとする。ロッカー捜索の過程において、学校長またはその被指名人は、違法でない、または学校の方針や規則に反していない発見物について、生徒のプライバシー権を尊重するものとする。

ロッカーの中身を差し押さえる

ロッカーの捜索を行う場合、学校長またはその被指名人は、違法または未許可の物品、理事会の方針または規則に違反する物品、あるいは他者の安全またはセキュリティを脅かす可能性があるとして学校長またはその被指名人が合理的に判断したその他の物品を押収することができます。そのような物品には、銃器、爆発物、危険な武器、可燃物、違法な規制薬物または規制薬物類似物、その他の中毒物、禁制品、毒物、盗品が含まれますが、これらに限定されるものではありません。このような危険物を押収した場合、あるいは州全体の学校安全情報ポリシーに基づき学校が法執行機関に報告する必要のある物品を押収した場合、法執行機関に直ちに通知されるものとする。校長またはその指名する者が押収した物品は、ロッカーから取り出し、学校関係者が保管するものとする。未成年者または18歳以上の生徒の保護者は、ロッカーから持ち出された物品について、学校長またはその指名する者によって通知されるものとする。捜索を行う場合、違法なものでなく、学校の方針に反しないものについては、生徒のプライバシー権を尊重するものとする。参考改正学校法第 380 条第 1306 項。

ビデオ・オーディオ監視システム

ビデオおよび/またはオーディオ監視システムは、スクールバスで使用され、ビデオ監視システムは、校舎の公共エリアで使用されている場合があります。これらのシステムは、生徒、スタッフ、訪問者、学校の財産を保護するために導入されています。規律上の問題が音声または映像で記録されている場合、これらの記録は学生の規律を課すための基準として使用されることがあります。犯罪行為が録画されている場合、その録画のコピーは警察関係者に提供されることがあります。

全地区共通ドレスコード

以下の服装規定は、生徒行動規範検討委員会（生徒、保護者、教師、カウンセラー、管理者、バス運転手を含む）の推薦により、ウォールドレイク統合学区の全学校で採用されているものです。状況により、個々の学校が服装や身だしなみに関する期待事項を変更することがあることを明確に認識している。そのような場合、保護者と生徒には、変更の発効日に先立って通知が行われます。

はじめに

学生のドレスコードの目的は、学生の安全を促進し、学生、スタッフ、教育コミュニティのメンバーが、学生のドレスによって、気が散ったり、嫌がらせを受けたり、脅迫されたりしないことを保証することによって、教室での学習を促進することです。学生は常に適切な服装をすることが期待されています。不適切な服装とは、以下のようなものを指しますが、これに限定されるものではありません。

- 薬物、アルコール、タバコを宣伝するもの。
- 下品な言葉や性的描写があるもの。

- 暴力団や学校の方針・慣行に反すると思われる組織への関与を示すもの。
- 地区の方針、または州法に抵触する項目。
- 教室内では、処方箋のないサングラスを使用します。
- 靴を履かずに行くこと。
- マッスルシャツ、タンクトップ、チューブトップ、メッシュシャツ、ミニスカート、スパンデックス服、カットオフショーツ、胸元が開いた服、露出度の高い服、暗示的な服など。
- ビーチでの服装
- 鎖、手錠、その他金属製の道具。
- 学校でかぶっている帽子
- 教室ではコートを着用（適切な場合は例外とする）。
- 下着が見えるようなズボンを履いている。

このドレスコードに関するご質問は、校長までお願いします。

介入策と懲戒処分

この行動規範は、考えられる生徒の違反行為をすべて列挙することを意図したものではありません。管理者は、公正で合理的な規則を制定し、このハンドブックに記載されていない違反行為に対して結果を課す権利を留保します。このハンドブックで省略されている事項は、生徒の健康、安全、福祉に悪影響を及ぼす可能性のあるあらゆる種類の違反行為に対処するための学校の責任範囲、したがって学校の権限を制限するものと解釈してはならない。

学生選手ハンドブック

学際的なスポーツ選手および共同カリキュラムの参加者に関する規則は、「競技行動規範」に定められている。このルールは、「学生行動規範」で定められたルールに加え、さらに追加されたものです。アスリートに関する規則は、生徒が中学・高校に入学した時点から始まり、生徒のアスリートが卒業するまで適用されます。スポーツへの参加は権利ではなく、特権である。学生アスリートは、私たちのミッションと一致した哲学を推進するために、中学・高校生活を通じてアスレチックポリシーに適合することが要求されます。学生は、同一の事件に起因する学生行動規範および競技行動規範ハンドブックへの違反により懲戒されることがある。スポーツ行動規範の実施責任は、校舎の管理者と教育委員会の権限に基づき、各チームのコーチが負うものとする。コーチは、学生アスリートと一緒に競技行動規範を確認する責任があります。生徒は、シーズンが始まる前に、保護者／生徒ハンドブックのスポーツ／課外活動のセクションを熟知していることを示す声明に署名することが要求されます。

Athletic Code of Conduct Handbook の詳細については、Walled Lake Consolidated School の Web サイトを参照してください。 <http://www.wlcsd.org/parents>。

学生輸送ハンドブック

バスに乗る生徒に関する規則は、生徒用交通ハンドブックに記載されています。このルールは、「学生行動規範」で定められたルールに加え、さらに追加されたものです。ライダーに関する規則は、生徒が学校に入学した時点から始まり、生徒が卒業するまで適用されます。学生は、同じ事件に起因する学生行動規範および学生輸送ハンドブック違反のために懲戒処分を受ける可能性があります。学生

輸送ハンドブックの施行責任は、校舎管理者と教育委員会の権限に基づき、バス運転手にあります。生徒は、学校が始まる前に、交通ハンドブックを熟知していることを示す声明に署名することが要求されます。

生徒輸送ハンドブックの詳細については、Walled Lake Consolidated Schoolのウェブサイトをご覧ください。 www.wlcsd.org/parents.

学生行動規範違反

次ページの4つの違反レベルは、すべてを網羅するものではなく、あくまで代表的なものであり、例示に過ぎません。また、記載されていない不正行為を行った学生も懲戒処分の対象となる場合があります。

21件の報告対象事故

ミシガン州のすべての公立学校は、以下の事件を地元の法執行機関に報告することが法律で義務付けられています。

1. 武装した被写体
2. 放火
3. 死亡または殺人
4. ドライブ・バイ・シューティング
5. 薬物の所持または販売
6. 薬物の使用または過剰摂取
7. 爆発
8. オフィスへの侵入者が、退出またはチェックインを要求された後、それを拒否した場合。
9. 1000ドル以上の窃盗
10. 未成年者がタバコやアルコールを所持している場合
11. 目に見える傷害を伴う身体的暴行
12. 強盗または恐喝
13. スクールバス事件
14. 性的暴行
15. 自殺未遂
16. 武装した被疑者または人質の疑いがある
17. 電話による爆破予告
18. 自殺のおそれがある場合、学校関係者が調査し、合理的であると判断した場合。
19. 生徒の不正な連れ去り
20. 1000.00ドル以上の破壊行為 (M. D. O. P.)
21. 学校敷地内への武器の持ち込み

また、地区は、適切と思われる場合には、地元の法執行機関にその他の事件を報告することができる。

停学処分

生徒の授業、教科、活動での行為が、この学生行動規範のレベルII以上の違反であると信じる十分な理由がある教師は、その生徒をその授業、教科、活動から最長で1日の間、停学にすることができます。このような場合、教師は、Teacher Imposed Student Suspension form (Form A, pg., p. 1) を用いて、停学処分とその理由を校長に書面で報告しなければならない。20)、校長またはその被指名人に送り、適切な処置を受ける。また、教師は、できるだけ早く、遅くとも翌日までに、生徒の保護者に連絡し、教師の非授業時間中に停学に関する会議に出席するよう呼びかけなければなりません。保護者からの要請があれば、学校管理者も会議に出席します。さらに、教師は、スクールカウンセラー、学校心理学者、または学校ソーシャルワーカーを会議に招待し、可能な限り出席させなければならない。生徒行動規範の本規定に基づき教師から停学処分を受けた生徒は、教師および学校長の同意なしに、停学処分を受けた授業、教科、活動に復帰してはならない。

教師は、学生行動規範のこの条項に基づいて生徒を停学にする必要はなく、代わりに、校舎の標準的な懲戒手続きに従って、非行内容を校舎の管理者に照会することができます。

レベルI違反

レベルIの違反とは、教育過程を混乱させる、あるいは授業や学習を妨害するような行動を指します。ほとんどの場合、レベルIの違反は、学生の学習環境、出席、時間厳守を乱したり、妨げたりするものです。レベルIの違反は、その重大性や繰り返しによって、レベルIIまたはレベルIIIに再分類されることがあります。

1. **慢性的な物資不足-**
教科書、体育着、産業教育の授業用品など、必要な物資が不足していることを何度も報告すること。
2. **破壊的な行動-** 教育活動を妨害する、または邪魔するような行動をすること。
3. **不適切な愛情表現:** キス、抱擁、または良識や一般的な規範を超えた愛情表現に関わること。
4. **不適切な服装と身だしなみ-**
地区全体の服装規定で禁止されている服装や身だしなみをする事 (p. 2.6) またはそれに類する建築ルール。
5. **不適切な私物-**
校則で禁止されている私物を所持すること、または他の生徒の教育や学習の妨げとなること。
6. **許可なく退出すること-**
学校、教室、または指定された場所から、学校関係者の許可なく退出すること。
7. **遅刻-** 正当な理由なく、指定された時間に教習所に来なかったこと。
8. **不登校-**
学校または保護者の事前の許可、知識、弁解なしに授業または学校に出頭しないこと。学校に定期的に参加し、すべてのクラスと予定された活動に迅速に到着することは、生徒と保護者の主要な責任です。(MCL 380.1561)

レベルI規律手順

レベル I

の違反について管理職に照会する場合、教師/生徒の会議、補助スタッフ/生徒の介入、教師/保護者の連絡など、スタッフの介入戦略が行われるものとする。レベル I

の違反に対して、管理者は以下の介入策および懲戒処分のいずれか、またはすべてを用いることができる。

ミニマムアクション

1. 教師・生徒の会議または叱責。

適切と判断される追加措置

1. 管理者/生徒の連絡先
2. 管理者・保護者の連絡先
3. 様々なサポートスタッフまたは機関を含む紹介および会議。
4. 毎日・毎週の進捗状況報告。
5. 行動契約。
6. 生徒のクラススケジュールの変更。
7. 学校の奉仕活動の課題。
8. 不適切な物品を没収すること。
9. 返還／復元。
10. 放課前または放課後の居残り。
11. クラスおよび/または学校行事への参加を拒否されること。
12. 校内停学
13. プランニングルーム、オプションルームへの一時的な配属。
14. その他、必要に応じて介入策を講じる。

第二水準違反

レベルII違反とは、教育過程を著しく混乱させる、あるいは授業や学習を妨害するような行為を指します。ほとんどの場合、レベルII違反は、適切な学習環境を得る他人の権利を混乱させたり、妨害するものです。また、違反の度合いや繰り返しによって、レベルIIの違反がレベルIIIに再分類されることもあります。

1. **Academic Dishonesty (学問的不正行為)** -
学問的な不正行為に関与すること。不正行為には、不正な援助や補助を実際に与えたり、受けたりすること、または、あらゆる形式の学業において不当な利益を実際に与えたり、受けたりすることが含まれますが、これらに限定されるものではありません。学生は、他人の言語、構造、アイデアおよび/または思考をコピーして、自分のオリジナル作品として表現することを含む盗作に関与してはならない。
 - a. **学問的不正行為には、以下のものが含まれますが、これらに限定されるものではありません。**
 - i. 電子媒体や映像媒体を含む、他の生徒の作品をコピーすること。
 - ii. インターネットからコピーした情報を提出すること。
 - iii. 他の生徒に宿題を提供すること。
 - iv. テスト関連資料の開示
 - v. 先生から報告された不誠実な行為。
 - vi. 小テストやテストにおいて、「クリブ」または「カンニング」ノートを使用または所持すること、あるいは許可されていないテキストにアクセスすること。

- b. 剽窃には、以下のようなものが含まれますが、これに限定されるものではありません。
 - i. 他の生徒の作品や過去に発表された資料やアイデアを、あらゆるソースからコピーし、自分のものとして提出すること。
 - ii. 自分の作品を生徒にコピーさせること。
 - iii. 著作物を意図的に複製可能な場所に置いたり、電子的に送信したり、著作物の入ったノートや紙、ディスクを人に貸したりすること。
 - iv. 他の資料の言葉や語順を改変し、自分のものとして提出すること。
 - v. 大学生、元学生、家庭教師、友人などの大人が書いた作品を自分の作品として提出すること。
 - vi. 無許可の共同作業により作成された作品を自分の作品として提出すること。
を、単独で完結するように設計された課題において
- 2. **暴行-**
人の同意なしに、合理的な人に有害または攻撃的な接触の差し迫った恐怖を与えること。
- 3. **バッテリー-** 意図的に、同意なしに、身体的または攻撃的に人に接触すること。
- 4. **いじめ/脅迫-**
意図的に他人を困惑させたり、脅迫するような口頭または非言語の行動や発言。
- 5. **わいせつ物の流布/所持 -**
電子的またはその他の手段により、下品、淫らまたはわいせつなものを意図的に所持または流布すること。
- 6. **指定された居残り授業を受けなかった場合-**
生徒および/または保護者が通知された指定された居残り授業を受けなかった場合。
- 7. **虚偽の陳述-**
学区職員に対し、口頭または書面により意図的に誤った情報を伝え、または虚偽の陳述を含む文書を所持すること。例えば、他人の名前を使うこと、学区の用紙や記録上の時間、日付、成績、住所、その他のデータを改ざんすること、学区の用紙や記録に虚偽、誤解を招く、または不正確な記述や情報を提供することが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- 8. **ギャンブル-** 金銭または有価物を得るために、技術または偶然のゲームを行うこと。
- 9. **ギャングの印/活動-** ギャングとは、学区の一般的な 秩序や教育の使命を脅かすような活動を行う学生や成人の組織的な集団と定義されます。
 - a. **活動内容**
 - i. 学校コミュニティにおいて、暴力、力、強制、脅迫、暴力の脅威、いじめを行い、学区またはその構成員の教育的使命に混乱/損害を与える可能性のあるグループ。
 - ii. 暴力団に学生を勧誘する。
 - iii. 暴力団を助長する活動や話し合いをする目的で、2人以上の者が集まること。
 - b. **インシグニア/ジェスチャー**
 - i. 生徒が暴力団の一員であることを示す、あるいは暴力団支持を象徴する衣服、宝石、色彩、記章を着用、表示、所持すること。
 - ii. 生徒を暴力団の一員であると特定したり、暴力団を支持することを象徴するような言葉、フレーズ、シンボル、ジェスチャーを使用すること。
- 10. **地区のテクノロジーの不適切な使用-**
地区のコンピューターやその他のテクノロジーを承認されていない、あるいは禁止されている方法で使用すること。
 - a.
 - 他のユーザーのパスワードを使用したり、知ろうとするなど、他のユーザーのプライバシーを無視すること。
 - b.
 - 他のユーザーのファイルを不正にコピー、変更、読み取り、アクセス、または使用しようとするなど。

- c. 地区の設備、システム、プログラム、ファイル、または他のユーザーのアカウントに不正にアクセスすること、またはアクセスを試みること。
 - d. 地区の機器、システム、プログラム、ファイルにウイルスを持ち込む、または持ち込もうとすること。
 - e. 地区の設備、システム、プログラム、ファイルを使用して、他人に迷惑をかけたり、嫌がらせをしたりすること、または使用を試みること。
 - f. f. 地区の設備、システム、プログラム、ファイルを破損すること、または破損しようとする
11. **自動車の不適切な使用-**
危険な方法で運転すること、自動車の登録をしないこと、駐車違反のステッカーを掲示しないこと、無許可の場所に駐車すること。
 12. **不埒（ふらち） -** 学校関係者に対して、言葉または非言語で無礼な態度をとること。
 13. **反抗的な態度／仕事をしない、指示に従わない-**
学校関係者の指示や指導に従わない、または身分を明かすことを拒否すること。
 14. **うろつき -**
正当な目的または事前の許可なく、最終下校後20分以上、職員の監視なしに学校敷地内に留まること、または滞留すること。違反した場合、不法侵入の罪に問われることがあります。
 15. **虚偽の陳述-**
学生は、本行動規範の違反の可能性の調査中に、管理者または職員に対して虚偽の陳述または虚偽の証拠を提供してはならない。
 16. **不正行為-** 意図的な不正行為、Walled Lake Consolidated School Student Code of Conduct
で特にカバーされていない不適切な行為、具体的には、学校での合理的な行動基準に対する意図的な違反行為。
 17. **校外での行動-**
学校主催の校外行事に参加する生徒は、学区職員の指示と権限に従うものとし、ウォールドレイク学区の該当するすべての規則と規定に従うものとし、さらに、生徒のキャンパス外での行動が、生徒や職員の一般的な安全や福祉、あるいは学校の秩序や機能に重大かつ実質的な悪影響を与える、あるいは与える可能性がある場合、学校が主催する活動の一環であるかどうかにかかわらず、懲戒処分の対象となることがあります。
 18. **学外でのインターネットサイトおよび使用-**
学生は、ウェブサイトの作成および/または使用を含むがこれに限定されない、学外でのインターネット使用により、生徒および職員の一般的な安全および福祉、または学校の秩序と機能に重大かつ実質的な悪影響を及ぼす場合、適切な懲戒処分の対象となる場合があります。本項は、憲法修正第1条の保護に反して適用されるものではありません。
 19. **Persistent Misbehavior or Repeat/Serious Level I Violations -**
レベル I 違反の累積、または重大なレベル I 違反の再分類。
 20. **違法なハラスメント -**
人の性別、人種、肌の色、国籍、年齢、宗教、身長、体重、配偶者の有無、障害に関連した、非常に広範かつ深刻で客観的に不快な、その人が教育の機会や恩恵を受けることを事実上妨げるような好ましくない行動や発言。
 21. **身体的な攻撃性 -**
押す、突き飛ばす、引っ掛けるなど、攻撃的な身体的接触を行うこと。
 22. **タバコ製品の所持／使用 -**タバコやその他の
タバコ製品（無煙タバコ、副葬品など）を所持または使用すること。

23. **許可なく録音すること-**
生徒は、許可された特定のコミュニケーションについて、録音者の明示的な許可なく、管理者、教師、その他の学区職員とのコミュニケーションを、いかなる手段（音声、ビデオ、デジタルなど）でも録音してはなりません。
24. **他人の所有物（100ドル未満の価値）の窃盗、所持、譲渡 -**
学校または個人、団体の所有物（100ドル未満の価値）を事前の許可なく故意に持ち出すこと。他人の財産（価値100ドル未満）を所有者の同意なく故意に所持または譲渡すること。
25. **不法侵入-**
許可または承認なしに、校舎または学校敷地内、あるいは校舎または学校敷地内の特定の場所に立ち入ること、またはそこに存在すること。
26. **電子通信機器-**
携帯電話、デジタル写真／ビデオカメラおよび／またはカメラ付き携帯電話、iPod、MP3、その他データまたは画像を送信することができる個人用通信機器を含みますが、これらに限定されるものではありません。一つは、保護者と生徒が、生徒が学生行動規範に違反し、PDAにその違反に関する情報が含まれていると合理的な疑いを持った場合、地区の職員が PDAの中身を検査することに同意すること、もう一つは、指導目的以外で授業時間中に PDAを使用しないことである。
27. **冒涇の使用 -**
罵倒や下品な言葉、身振り、絵、音など、攻撃的、卑猥、示唆的なメッセージを伝える方法で書いたり、言ったり、身振りをしたりすること。
28. **破壊行為-**
意図的に学校の所有物や他人の所有物を破損、汚損、機能停止、またはその他の危害を加えること。軽微な破損であれば、地区に費用をかけずに修理または交換できる場合を含む。

レベルII規律手順

レベル II

の違反に対して行政処分を行う場合、教師/生徒の会議、補助スタッフ/生徒の介入、教師/保護者の連絡など、スタッフの介入策を講じるものとする。レベルII違反の場合、管理者は以下の介入策および懲戒処分のいずれか、またはすべてを用いることができる。

最小限の行動

1. 管理者と生徒の面談または叱責

適切と判断される追加措置

1. 管理者・保護者の連絡先
2. 様々なサポートスタッフまたは機関を含む紹介および会議。
3. 毎日・毎週の進捗状況報告。
4. 行動契約。
5. 生徒のクラススケジュールの変更。
6. 学校の奉仕活動の課題。
7. 不適切な物品を没収すること。
8. 返還／復元。
9. 放課前または放課後の居残り。
10. クラスおよび/または学校行事への参加を拒否されること。
11. 警察からの通達
12. 学生支援プログラムを紹介する。
13. 運転免許の拒否
14. 代替教育プログラム（例：LATEプログラム）への配属。

15. 校内停学
16. 停止を延期または保留する。
17. 学校外での停学日数が1日から5日まで。
18. 企画室またはオプション室への一時的な配置。
19. その他、必要に応じて介入策を講じる。

レベル3違反

レベルIIIの違反とは、一般的に違法な、悪化した性質の行動で、学校の効果的な機能を混乱させたり妨害したりするものです。また、違反の度合いや繰り返しによって、レベルIIIの違反がレベルIVに再分類されることもあります。

1. **加重暴行およびバッテリー**— 傷害を引き起こすが、武器の使用を伴わないバッテリー。
2. **放火**— レベル IV の違反に該当しない、学校の敷地内で意図的に **火災または燃焼を引き起こすこと。**
3. **爆弾予告および類似の脅迫**—
爆弾予告または類似の脅迫について、虚偽または意図的に間違った報告をすること。
4. **侵入**—
権限を持たずに学校の建物、施設、オフィス、部屋、保管スペース、その他の囲いに入ること。
5. **無秩序な行動**— 暴力的または著しく不適切な方法で行動すること。
6. **Endangerment**—
他の生徒や学校関係者の健康、安全、幸福を脅かすことにつながる計画を立てたり、情報を報告しないこと、または教育過程に支障をきたす恐れのあること。
7. **恐喝**—
危害を加えるという脅しの下に金銭を要求するなど、他人の意思に反して行動するよう説得したり強制したりするために、違法またはその他の不適切な手段を利用すること。
8. **虚偽の火災警報**—
学校または消防署員に火災を報告すること、火災が存在すると合理的に信じることなく火災警報を鳴らすこと、または火災安全装置を改ざんすること。
9. **Felonious Assault or Battery (重罪の暴行またはバッテリー)** —
武器を使った暴行またはバッテリー。
10. **喧嘩** — 攻撃的で物理的な衝突をすること。
11. **Persistent Misbehavior or Repeat/Serious Level I or Level II Violations**— Level I または Level II の違反の累積、または重大な Level I または Level II の違反の再分類。
12. **花火/爆発物の所持または使用** — レベル IV
違反の対象とならない花火または爆発物を所持または使用すること。
13. **武器/危険な道具の所持**—
BBガン、ペレットガン、類似の銃、武道用武器、ペッパースプレー、刃渡り3インチ以下のナイフ（ナイフの刃の長さは、柄が終わる点から測定する）、剃刀、レプリカ武器など（ただし、これだけに限らない）、あらゆる種類の武器、武器のように使用する材料を所持、使用、販売、流通、または隠すこと。
14. **薬物用具の所持**— ボング、パイプ、ローリングペーパーなどの薬物用具を所持していること。
15. **アルコール/薬物の所持/使用**—
アルコール飲料、マリファナ、中毒性物質、薬物、模造規制物質、「デザイナー」ドラッグ、合成スパイス、香または薬物の複製、ステロイド、ヒト成長ホルモン、その他のパフォーマンス向上物質、吸入剤（例：接着剤、エアゾール缶、）など、医師によって明確に処方されていない規制、規制、未許可の物質を所持、使用、故意に誤用、または影響下にあること（ただし、これだけに限定されない）。吸入剤（例：接着剤、エアゾール缶、**、本来の用途でない場合**）、または**市販の薬物/物質**。

16. 無謀な運転-

学校の敷地内またはスクールゾーンにおいて、人や財産の安全を故意に無視した車両の運転をすること。

17. 強盗-力または侵略の脅しによって人から財産を奪うこと。

18. 他人の所有物（価値100ドル以上）の窃盗、所持、譲渡-

学校または個人、団体の所有物（価値100ドル以上）を事前の許可なく故意に持ち出すこと。他人の財産（価値100ドル以上）を所有者の同意なく故意に所持または譲渡すること。

19. 武器による脅迫または武器の使用- 武器を使用して他人を脅し、身体的傷害を負わせること。

20. 学校当局への不法な干渉-

力や暴力の脅しによって、管理職や教師、その他の学校関係者を妨害すること。

21. 口頭/書面による暴行（MCL. 380. 1311A(2)）-

合理的な学校関係者や生徒に、人または財産への差し迫った傷害の恐怖を与える口頭または書面による発言または行動。

レベルIII規律手順

レベル III

の違反に対して、管理者は以下の介入策または懲戒処分のいずれか、またはすべてを用いることができる。

最小限の行動

1. 管理者と生徒の面談または叱責
2. 管理者・保護者の連絡先
3. 学校外での停学日数は6～10日（小学校では異なる場合がある）。

適切と判断される追加措置

1. 警察からの通達
2. 停止を延期または保留する。
3. アルコール/薬物違反で青少年支援プログラム***を紹介（セカンダリーレベルに適用される）。
4. 代替教育プログラム（例：LATEプログラム）への編入を勧める。
5. 11～30日の間、停学を勧告する**。
6. 30日以上長期停学を勧告する**。
7. 退学勧告*。
8. その他、必要に応じて介入策を講じる。

* 取締役会の決定が必要

** Action required by Assistant Superintendent of School or designee.

*** ユース・アシスタント・プログラム - セカンダリーレベル

違法薬物やアルコールの不法な所持や使用は、間違っており、有害です。その他の非特定の処方された物質の使用または所持は、間違っており、有害である可能性があります。

A. レベルIIIの違反 - アルコール/薬物の所持または使用

1. 生徒と保護者が、ウォールドレイク統合学校区が提供するアルコール/薬物教育コースへの参加に同意した場合、停学は最低5日間に設定され、長期の停学勧告は行われません。
注上記の規定にかかわらず、違反が繰り返された場合、または学生支援コーディネーターが重大と判断した場合、専門家による評価および/または治療のために適切な機関に直ちに紹介され、退学を勧告される場合があります。

2. アルコール／薬物教育コースが終了した時点で、青少年援助課は、専門的な評価および／または可能な治療のために適切な機関に紹介する必要性を評価する。
3. 専門家による評価が行われた場合。
 - a. 青少年援助 は、管理者に紹介を助言する。
 - b. 青少年援助課は、管理部門と協力して、保護者に評価プロセスの完了期限と可能なリソースのリストを提供することができます。
 - c. 評価完了の証拠と評価者が行った治療勧告の実施は、期限までに保護者から管理部門に提出されます。
4. 上記の条件が満たされない場合、残りの日数分の停学が課され、退学を勧告される可能性があります。

レベルIV違反

ミシガン州の法律に従い、生徒の特定の行為や行動は、レベル IV の違反として以下に具体的に示されるように、退学処分となる。

レベルIVの違反は

1. **放火**-ミシガン州刑法第 X 章 (MCL 750. 71 から 750. 80) の重罪違反と定義される。
2. **犯罪的性行為**-
ミシガン州刑法520b条、520c条、520d条、520e条、または520g条の違反として定義されます (MCL 750. 520b-g) 。
3. **身体的暴行 (MCL380. 1311a(12) (B))¹**-
6年生以上の生徒が地区の職員、ボランティア、または地区のために契約した人物に対して故意に身体的危害を加える、またはもたらそうとすることと定義されています。
4. **学校敷地内での危険な武器の所持**-
銃器、短剣、ダーク、小剣、刃渡り3インチ以上のナイフ (柄の先端から計測)、機械装置で開くポケットナイフ、鉄棒、ブラスナックルなどと定義されています。さらに、連邦銃禁止法 (20 USC 3351)、および合衆国法律集第 18 編第 921 条で定義されている「武器」の定義と一致し、爆発物の作用により弾丸を発射する、または発射するよう設計され、あるいは容易に改造できる武器 (起動銃を含む)、あるいは爆発物、焼夷弾、毒ガス、爆弾、手榴弾、4オンスを超える推進剤を有するミサイルを含む破壊装置が対象となるが、これに限定されない。また、爆発物、焼夷弾、毒ガス、爆弾、手榴弾、4オンスを超える推進剤を充填したロケット、1/4オンスを超える爆発物または焼夷弾を充填したミサイル、地雷を含む破壊装置も含まれます。

以下の違反は、必須ではありませんが、地区の単独の裁量で州法の下で依然として認められている強制的な除籍処分です。

5. **学校敷地内における危険な武器の所持** -
BBガン、ペレットガン、それに類似した「おもちゃ」、剃刀、またはそれに類するもの。
6. **アルコール／薬物を配布する意図をもって所持すること** -
アルコール飲料、大麻、酩酊物質、薬物、他人に薬物と偽って配布する「そっくりさん」物質、または模造規制物質を含むがこれに限定されない、規制、制御または未許可物質を他人に販売、供給、配達、**贈与、意図、または譲渡すること。**

最小限の行動

1. 学校外での停学は、最低10日間に設定されます。
2. 警察に通報される
3. 退学勧告がなされます。

レベルIVの懲罰手順

すべてのレベルIVの違反に対して、以下の措置を講じなければならない。

1. 学生、管理者を含めた会議。デュープロセス調査 終了。
2. 警察への届け出
3. 管理者と保護者の連絡
4. 地区による聴聞を待つ生徒の停学処分。
5.

地区は、このような聴聞会で証拠調べを行い、学生がレベル4の違反を犯したと認められた場合、（武器犯罪の場合を除き）永久に退学処分とするものとする。地区は、上記の条件を1つ以上満たした場合でも、除名することができます。
6. 地区は、3 日以内に、社会福祉省、地域精神保健省、刑事司法機関に照会し、保護者、または 18 歳か
退学した未成年であれば生徒に通知する。さらに、該当する連邦および州の法律に従い、地区は、退学者を地元の法執行
機関および検認裁判所の少年課に照会することが適切であると判断する。
7.

5年生以下の生徒の親または法定保護者は、60学校日後に復学を申請し、90学校日後に発効する（ただし、武器が銃器であるか、危険な武器による脅迫があった場合）、または、いつでも復学を申請し、10学校日後に発効する（武器が銃器でなく、危険な武器による脅迫もなかった場合）。
8.

6年生以上の生徒の親または法定保護者は、150学校日後に復学を申請し、180学校日後に発効させることができる。
9. 地区は、レベル 4
の退学者のためのプログラムを運営することを選択することができる。一般の学生が利用する施設とは別の施設、または時間帯であること。地区
はまた、復職の申立てに有利な措置をもたらす可能性のある保護者の行動について、事前に保護者または法定後見人に助言することができる。
10.

この方針は、特別教育プログラムおよびサービスの対象となる人々の適正手続きの権利を弱めるものではありません。

復職願い

1. 復学を申請するのは、もっぱら両親または法的保護者（または成人した生徒）の責任となります。
2. 理事会は、復職の嘆願書を受け取ってから 10 学校日以内に、理事会メンバー 2 名、学校管理者 1 名、教師 1 名、地区内の保護者 1 名からなる審査委員会を任命する。管理責任者は、退学の状態および緩和要因に関する情報を作成し、提出することができる。
3. 審査委員会の任命からさらに10日以内に、審査委員会は請願書とそれを裏付ける情報を検討し、教育委員会に勧告を提出します。
4. 推薦状は、無条件復職、条件付き復職、復職拒否のいずれかとなります。また、推薦の理由および復職の条件についての説明を添え、以下のすべてに基づくものでなければなりません。
 - a. 学生や職員に危害を加える可能性があること。
 - b. 地区または個人の賠償責任に関する潜在的リスク。
 - c. 個人の年齢と成熟度。
 - d. 退学処分前の個人の学歴。
 - e. 個人の除名事件に対する態度。
 - f. 退学処分以降の個人の行動と、改善の見込み。
 - g. 可能な条件に対する受容性を含む、保護者の協力と支援の度合い。
5. 取締役会は、次の定例会合において、この勧告に関する決定を下すものとします。理事会は、復権に先立ち、特定の条件について両親（または成人した本人）の書面による同意を求めることができます。条件には、これらに限定されるものではありません。
 - a. 行動に関する契約（外部機関との契約を含む場合がある）。
 - b. アンガーマネジメントプログラム、またはその他のカウンセリング。
 - c. 定期的な進捗確認、および
 - d. 条件に従わなかった場合の即時結果を指定。

懲戒処分の手続き または10日以内の停学

1. 管理者が10日以内の懲戒処分または停学を決定した場合、管理者は懲戒処分または停学の根拠となる特定の非行について生徒に通知します。
2. 管理者は、懲戒処分/停職処分を下す管理者に対して、関連情報を提示する妥当な機会を学生に許可します。

長期停学*または退学手続き
***じゅういちぶんのがくじつ**

プレヒアリングを行う。 長期停学または退学の勧告

ステップ1. (調査)

学校管理者が調査し、11日以上停学または退学が正当であると判断する。長期停学または退学の勧告書を含む小包が作成され、スキャンされて副校長に電子メールで送信されます。

ステップ2(対応)

生徒と保護者は、以下の情報を含む書面による通知を受ける。

1. 学生に対する罪状
2. 勧奨処分
3. 副管理人に対する聴聞が行われること。
4. 聴聞会で行われる手続き
5. 弁護士によるヒアリングの代理権

ステップ3(ヒアリングの日程調整)

理想的には、最初の最長10日間の停学期間が終了する前に、長期停学／退学処分の審理が行われるのが望ましい。しかし、スケジュールの都合でそれができない場合、学校の管理者は、生徒が学校にいないことが、生徒自身、または他の生徒、学校関係者、教育過程に危険を及ぼすかどうかを判断することができます。危険または混乱を招く場合は、学校副校長の決定があるまで、生徒は学校を休まなければならない。上記のような危険や混乱をもたらさない場合、副校長の決定を待つて生徒を学校に戻すことができます。停学期間または長期の休校期間中も、学業は提供されます。

ヒアリング

生徒に対する告発の真偽を判断する目的で、副校長の前で聴聞が行われ、告発が事実であれば、校長の推奨する懲戒処分が課されます。生徒とその保護者が、副校長による聴聞を受ける権利を放棄することを地区に通知した場合、校長の推奨する懲戒処分が課されるものとする。

学校副校長は、ヒアリングで提示された証拠に基づき、校長の勧告を修正することができます。この修正には、校長が勧告した以上の、あるいはより軽い罰則を課すことが含まれる場合があります。

懲戒処分の自主的合意

副校長は、懲戒処分の手続き中いつでも、生徒およびその保護者と書面による契約を締結し、問題の合意および解決を図ることができるものとする。この場合、書面による合意は最終的なものであり、副校長、生徒およびその保護者は、後に異議を申し立てることができないものとしします。

ヒアリング後

副校長の決定は、ヒアリング終了後2学校日以内に生徒と保護者に口頭で伝えられ、決定書はヒアリング終了後4学校日以内に郵送されるものとしします。ただし、やむを得ない事情により、副校長がこれらの期限を延長することがあります。副校長の決定は最終的なものであり、それ以上訴えることはできないものとする。

入学前不良行為

1. 停学・退学

生徒と職員の健康と安全を守り、教育の妨げとなる恐れのある事態を防ぐため、他に資格のある居住者の生徒は、以下の理由により停学または退学させられることがあります。

a. 生徒が Walled Lake Schools

に在籍していないときに、学校の時間外および／または学校の敷地外で行った過去の違法行為

b.

学生が他の地区に在籍している間に、重大な軽犯罪に該当する以前の行為、およびその他の非行行為があった場合。

生徒が Walled Lake Schools

に在学中に発生した場合、その行為または重大な軽犯罪、あるいはその他の非行が停学または退学の十分な根拠となる場合。

2. デュープロセス手順

ステップ1. 停学・退学勧告の事前説明会

生徒の過去の非行が、他の生徒および/または学校関係者の健康と安全を脅かし、教育過程に支障をきたすほど重大であるかどうかは、学校長またはその指名する者の同意のもと、校舎の管理者が最初に判断するものとします。生徒の登校がそのような脅威となると最初に判断した場合、生徒は一時的に停学となり、生徒と保護者に通知されるものとする。

- a. 、出席拒否の判断の根拠となる、学校管理者が依拠した以前の非行行為。
- b. 、生徒の停学または退学に関する校舎管理者の勧告。
- c. 公正な学校職員（学校副校長）の前で聴聞が行われるという事実がある。
- d. 審問の時間、場所、場所、および従うべき手続き

生徒および/またはその保護者は、学校副校長または指名された人物の前で聴聞を受ける権利を放棄することができます。この場合、校長の勧告により、停学または退学の懲戒処分が課されるものとします。

ステップ2ヒアリング

適正手続きのための聴聞会が放棄されない場合、学校副校長は、生徒の過去の非行行為が、生徒がウォールドレイク学区に在学中に起こったとすれば、停学または退学の十分な根拠となる重軽犯罪の行為またはその他の非行かどうかを判断する目的で、聴聞会を招集するものとする。もし、その前の行為が十分な根拠を持ち、生徒が学校にいたことが他の生徒や学校関係者の健康や安全に対する脅威となる場合、または教育過程に混乱をきたす恐れがある場合は、学校副校長が適切な懲罰を決定するものとします。

学校副校長は、聴聞会で提出された証拠に適合するよう、自らの申し立てにより告発を修正することができる。さらに、学校長代理は、校舎管理者が推奨する以上の、あるいはそれ以下のペナルティを課すことができます。学校副校長の決定は、ヒアリング終了後2営業日以内に、生徒と保護者に口頭で通知される。可能であれば、審問終了後4営業日以内に書面による決定を郵送するものとします。ただし、やむを得ない事情により、副校長がこれらの期限を延長することがあります。

3. 事務手続きについて

管理者は、入学時に、生徒がウォールド・レイク・スクールに入学する前に、生徒や職員の健康と安全を脅かすような軽犯罪やその他の違法行為を行っていないこと、あるいは教育過程に混乱をきたすような軽犯罪や違法行為がないことを、可能な限り確認する手続きを実施するものとします。

4. 入学時の情報開示について

入学時に、生徒、保護者は、生徒の過去の重大な軽犯罪やその他の非行に関する情報を、虚偽または不完全に伝えたり、開示したりしてはならない。違反した場合は、学生に対して懲戒手続が開始されます。

5. 配置の権利

保護された施設から移行する裁可を受けた生徒は、LATEプログラムへの入学やゼロ・トレランス契約への加入が認められる場合があります。

退学処分により他の学区からの転校が許可された場合、レイトプログラムへの入学やゼロ・トレランス契約への加入が認められます。



ウォールドレイク統合学区

教師による生徒の停学

校長先生へ提出

フォームA

生徒の名前 _____

先生 _____ 日付 _____

クラス、テーマ、またはアクティビティ。 _____

教師は、生徒が地区の学生行動規範レベル II
以上で禁止されている行為を行った場合、直ちに生徒をクラス、教科、または活動から排除し、
停学にする権限がある。

その行動が続く場合、生徒がどのような形で警告されたかを記述してください。

その生徒は停学になる。 _____

上記の生徒は、その生徒のために私のクラス、科目、または活動から停学になりました。

上記の生徒は、次に予定されている授業、教科、活動に戻ることを許可されます

日付: _____ 時間/時間: _____

私は、生徒の保護者と個人的に連絡を取り、保護者/教師会議の日程を決めることを理解しています。

この連絡は、教師による停学処分の後、できるだけ早く、遅くとも次の学校日までに行われます。

先生の署名 _____ 日付 _____


ワールドレイク統合学区
教師による生徒の停学

保護者会報告

フォー
ムB

教師は、生徒が地区の学生行動規範レベルII以上で禁止されている行為を行った場合、直ちに生徒をクラス、教科、活動から排除し、停学にする権限がある。

生徒 _____ 保護者 _____

教師による停職処分日付 P. T. C. の日付。 _____

先生 _____

出席者 _____

私が課した停学処分について、保護者と教師との面談が行われました。会議では、私たちは議論しました。 _____

保護者のコメント _____

生徒のコメント _____

改善計画 _____

生徒の署名 _____ 保護者の署名 _____

先生の署名 _____

その他の出席者 _____



ウォールドレイク統合学区 アカデミック・インテグリティ・ポリシーと契約

知識の追求と伝達において、生徒一人ひとりの成功に資する学問的環境を維持するため、ウォールドレイク
の中等学校は、全生徒のための学業基準を定めています。私たちは、すべての生徒が強いリーダーとして、
また生涯学習への挑戦に十分備えられる生徒として成長することを望んでいます。学問的誠実さを身につけ
ることは、今日だけでなく、明日の個人的な成功のために非常に重要です。そのため、アカデミックインテ
グリティに関して、以下のような基準を設けています。

アカデミック・インテグリティ

学生は、最高水準の人格的誠実さをもって行動することが期待されています。学生は、学業上の不正行為を
禁止する規則を遵守し、誠実さに関する高い基準を破るような同調圧力に抵抗しなければなりません。学生
は、学問的な期待や責任を果たすために誠実な方法をとることが期待されています。この手順や手続きにつ
いて質問がある場合は、いつでも教師、カウンセラー、または管理者に尋ねてください。学問的不正行為と
は、不正行為、剽窃、または偽って成績を取得することをいいます。

Walled

Lake 学生行動規範に記載されているように、学問的不誠実とは、学問的な不正行為に関与することです。
不正行為には、不正な援助や補助を実際に与えたり、受けたりすること、または、あらゆる形式の学業に
おいて不当な利益を実際に与えたり、受けたりすることが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
学生は、他人の言語、構造、アイデアおよび/または思考をコピーして、自分のオリジナル作品
として表現することを含む盗作に関与してはならないものとします。

学術的不正行為には、以下のものが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

- 電子媒体や映像媒体を含む、他の生徒の作品をコピーすること。
- インターネットからコピーした情報を提出すること。
- 他の生徒に宿題を提供すること。
- テスト関連資料の開示
- 先生から報告された不誠実な行為、および
- 小テストやテストにおいて、「クリブ」または「カンニング」ノートを使用または所持すること、あるいは許可さ
れていないテキストにアクセスすること。

剽窃には、以下のようなものが含まれますが、これに限定されるものではありません。

- 他の生徒の作品や過去に発表された資料やアイデアを、あらゆるソースからコピーし、自分のものとして提出する
こと。
- 自分の作品を生徒にコピーさせること。
- 故意または過失により、著作物を複製可能な場所に放置したり、電子的に送信したり、著作物を含むノート、紙、
ディスクを他人に貸与したりすること。
- 他の資料の言葉や語順を改変し、自分のものとして提出すること。
- 大学生、元学生、家庭教師、友人、その他の成人が書いた作品を自分のものとして提出すること、および
- 独立して完成するように設計された課題を、無断で共同作業して作成した作品を自分のものとして提出すること。

私たちは、*Walled Lake Secondary Schools* の「*Academic Integrity Policy and Contract*」のすべての規則と文言を読み、理解し、これに同意しています。

学生の認識と理解

私は、この文書に記載されたすべての期待事項と方針を読み、理解し、認めます。私は、記載されたガイドラインを遵守することに同意します。

生徒名（はっきりと印刷してください）
日付

生徒署名

保護者の認識と理解。

私は、学業成熟度に関する方針と私の子供に対する期待事項を読み、理解し、誠実な学業成熟度を支持することに同意します。私は、私の生徒の教育に参加することが、その生徒が学校で成功する可能性を決定するのに役立つことを理解しています。そのため、私は生徒の勉強を見守り、サポートします。私は、生徒の進歩や発達について話し合うために、どの講師にもアクセスでき、容易に利用できることに同意します。これらのポリシーに従わない場合、学生行動規範に規定された結果を招く可能性があります。

保護者氏名（はっきりとした字でご記入ください） 保護者署名 日付

2011年7月22日改訂

ウォールドレイク統合学区 アカデミック・インテグリティ・ポリシーと契約の帰結

中学校

初犯の場合

- カウンセラーまたは副校長に紹介する。
- 教師、副校長、または指定されたスタッフによる保護者への連絡。
- 保護者と生徒の署名による契約書を作成し、更なる違反があった場合の結果を理解したことを示す。
- 生徒は、その行動を認め、自己評価しなければならない。
- このような状況が繰り返されないように、生徒が計画を立てるのを支援する必要がある。
- 課題・試験・小テストの減点、または不合格。
- 生徒の懲戒ファイルに記録する。

2回目の違反：（中学校生活を通じて、同じクラスまたは異なるクラスで）

- 研究所で、初犯に記載されている結果を打ち出す。
- 1～3日の学校内外での停学処分を追加。
- 管理者と記録担当教師が適切と判断した場合、追加の学業成績を課す。
- 追加でアカデミックメークアップの課題を課す。

注このプロセスのどの段階においても、学生はウォールドレイク学生行動規範に記載されている別の分野で懲戒処分を受ける可能性があります。

高等学校

初犯の場合

- カウンセラーまたは副校長に紹介する。
- 教師、副校長、または指定されたスタッフによる保護者への連絡。
- 保護者と生徒の署名による契約書を作成し、更なる違反があった場合の結果を理解したことを示す。
- 課題・試験・小テストは0点、または不合格とする。
- 生徒の懲戒ファイルに記録する。
- 適切と判断される場合には、国民栄誉賞協会と情報を共有します。
- *Walled Lake* 学生行動規範のレベルII違反に記載されているように、適切とみなされる更なる結果。

2回目の違反：（高校生活を通じて、同一または異なるクラスで）

- 研究所で、初犯に記載されている結果を打ち出す。
- 1～3日の学校内外での停学処分を追加。

3回目の違反：（高校生活を通じて、同一または異なるクラスで）

- 研究所で、初犯と再犯に記載されている結果を打ち出す。
- 履修単位の喪失については、事務局および記録担当教員と相談する。
- 3～5日間の学校内外での追加的な停学処分。
- 1暦年間、すべての共同カリキュラム活動およびクラブから除外される。
- 1暦年間の競技会出場資格剥奪の可能性がある。

4回目の違反：（高校生活を通じて、同一または異なるクラスで）

- 初犯、再犯、三犯に記載されている結果を研究し、打ち出す。
- 6～10日間の学校内外での停学処分の追加。

注違反の度合いや繰り返しによって、管理者の判断で再分類されることがあります。

以下の私の署名は、私が本方針を読み、上記の期待、手順、結果を理解したことを反映するものです。

保護者名：印刷されています。 保護者署名： _____
生徒の名前 プリントアウト 生徒のサイン _____

今日の日付 _____

ウォールドレイク統合学区 生徒の携帯電話・デジタル画像機器の使用について およびその他の個人用電子機器

I. 目的

このポリシーの目的は、携帯電話、デジタル画像/ビデオカメラ、カメラ付き携帯電話、PDA、iPod、MP3、その他データや画像を送信できる個人用電子機器など、学生が所有しうる既存および新規テクノロジーの適切な使用に関する期待事項を規定することです。

2004-2005 年度に発効したミシガン州法 (SB 294 & HB 4218) により、地方教育委員会は、学校キャンパス内での携帯電話 (cell phone) やポケットベルなどの電子信号装置の使用や所持に関する方針を決定することができるようになりました。

さらに、WLCSDの携帯電話ポリシーは、生徒の安全と幸福への配慮と、気が散らない学習環境を維持する必要性とのバランスをとるために提供されています。

II. 権限

Walled Lake Consolidated School District

は、生徒の行動、学問的誠実さ、および携帯電話、デジタル写真/ビデオカメラ、電話、その他データや画像を撮影/送信できる個人用電子機器などの既存および新規テクノロジーの責任ある使用について高い期待を抱いています。学校または学校主催の行事において、このような機器を所有または使用する生徒は、教育環境と学校コミュニティ内のすべての個人の権利とプライバシーを最大限に尊重しなければなりません。

罰に対して責任を負わないものとしま

III. 責任の委譲

教育長または指名された者は、毎年、学生ハンドブック、ニュースレター、掲示、その他の効率的な方法で、地区の電子機器に関する方針を公表し、学生、保護者、職員に通知するものとする。

IV. ガイドライン

学校、バス、学校主催のアクティビティでの責任ある使用に関する基準

教育環境の尊重

1. 一つは、保護者と生徒が、生徒が学生行動規範に違反し、PDAにその違反に関する情報が含まれていると合理的に疑いを持った場合、地区の職員がPDAの中身を搜索することを許可すること、もう一つは、生徒が授業中にPDAを使用しないことである。いずれの場合も、地区はPDAを一時的に没収することを要求される場合があります。
2. 学校長の事前の承認を得て、教師はカリキュラムの学習目標をサポートするために、個人用電子機器の目的別使用を許可することができます。
3. 生徒は、いかなる形であれ、教育環境を混乱させ、または損なうような電子機器を使用してはならない。
4. 日中の教室、メディアセンター、テストセンター、集会、美術公演などでは、携帯電話やその他の個人用電子機器の使用は禁止されています。
5. 電子機器に反応して教室を離れることは許されません。
6. 高校生は、授業の前後やロッカー付近、カフェテリアなどの共有スペース、校外において、適切かつマナーを守って使用すれば、携帯電話やその他のデバイスを使用することができます。小中学生は、日中、携帯電話やその他の電子機器の使用を禁止しています。
7. 医療上の必要性または緊急性がある場合、生徒は学校長の事前承認を得た上で、携帯電話やその他の個人用電子機器を所持または使用することができるものとします。
8. 携帯電話やその他の個人用電子機器は、授業時間中は電源を切り、目の届かないところに置くものとします。

V. プライバシー権の尊重

1. 生徒は、スポーツイベントや公共の場でのパフォーマンスなど、公共の場と見なされる活動を除き、本人の認識と同意なしに、学校または学校主催のイベントで他の個人の写真やビデオ撮影をしてはならない。
2. 生徒は、学校内で撮影された他人の画像を、本人の書面による同意なしに、電子メール、インターネットへの投稿、その他の方法で電子的に送信してはならないものとします。
3. ロッカールームやトイレでは、携帯電話やその他の個人用電子機器の使用は固く禁じられています。

VI. 学問的誠実性の確保

学生は、テストや学業における不正行為や著作権ポリシーに違反しているのではないかと教職員に疑われるような方法で、携帯電話やその他の電子機器を使用しないものとします。

VII. 他の地区方針の遵守

携帯電話やその他の個人用電子機器の使用は、学生のプライバシー、著作権、不正行為、剽窃、礼節、学生の行動規範、電子技術の利用、嫌がらせに関するものを含め、地区の他の方針に違反してはならない。複数の地区方針に関わる違反が発生した場合、各方針の結果が適用されます。

2022-2023 WLCSD 電子機器使用ポリシー 州標準のテスト

学生に対する方針

生徒は、試験中または試験中の休憩中に、試験用以外の個人用電子機器を使用、装着、またはアクセスすることはできません。これらの電子機器には、スマートフォン、携帯電話、スマートウォッチ、Bluetoothヘッドフォン、音声アシスタント技術にアクセスできるヘッドフォン、およびテスト目的で積極的に使用されていないコンピュータおよび/またはタブレットが含まれますが、これらに限定されるものではありません。事務職員は、試験室や休憩時間に電子機器にアクセスできないよう、積極的に学生を監視するよう、十分な注意を払うこと。

学生が試験室に追加の電子機器を持ち込んだ場合、試験管理者は学生に電源を切るよう求めなければならず、試験セッションが終了するまで回収し、安全な場所に保管します。

受験生に追加の電子機器が医学的に必要な場合、その電子機器は試験管理者に預けるか、試験管理者1名対受験生1名の環境で受験生に試験を実施しなければならず、試験中は常に受験生を積極的にモニターしなければなりません。

学生は、試験中に、または試験後に、試験室にいる間、他のウェブサイトやアプリケーションにアクセスすることはできません。

2022-2023 WLCSD Electronic Device Use Policy for State-Standardized Testing

は、州テストの開始前にファミリーアクセスメッセージセンターを通じて保護者と生徒に共有されます。また、地区のホームページにも掲載される予定です。

ポリシーに違反した場合の生徒の処罰

試験棟管理者は、*WLCSD 学生行動規範*ハンドブックに記載されているレベル II 違反の手続きに従います。



ウォールドレイク統合学区

技術利用方針とガイドライン

1. はじめに

この文書は、Walled Lake Consolidated School District (WLCSD)、ネットワーク、技術機器、リソース、および WLCSD

関連の目的で使用されるその他の電子またはソーシャル

メディアに対する技術利用ポリシーとガイドラインを正式に規定するものです。WLCSDネットワーク、テクノロジー機器、リソース、またはその他の電子のもしくは社会的メディアを使用するすべての人（さらに「ユーザー/利用者」と呼ばれる）は、このポリシーの対象となり、その規定を熟知していることが期待されています。

2. ユーザーの責任

WLCSDのテクノロジー機器、ネットワーク、リソース、またはその他の電子のあるいは社会的メディアを使用するユーザーは、テクノロジー利用ポリシーとガイドラインを読み、理解し、それに従う責任があります。さらに、ユーザーは、テクノロジー利用ポリシーとガイドラインを解釈し、WLCSDのテクノロジー機器、ネットワーク、リソース、またはその他の電子メディアやソーシャルメディアの適切な使用について決定を下す際に、合理的な判断を下すことが期待されています。技術利用方針およびガイドラインの適用または意味に関して質問があるユーザーは、WLCSD情報技術部門に説明を求めてください。WLCSDのテクノロジー機器、ネットワーク、リソース、またはその他の電子のもしくは社会的メディアの使用は、テクノロジー利用ポリシーおよびガイドラインの条件を受け入れたものとします。

2A. WLCSD管理者の責任

WLCSDネットワーク管理者は、WLCSDの職員と学生のみがWLCSDネットワークのユーザーとして登録されていることを確認する責任を負っています。各校舎の管理者は、この文書（第3項および第4項）に記載されている「容認できる使用と容認できない使用およびその他の電子・社会メディア」を職員と生徒に理解させ、遵守させる責任がある。管理者が、利用者がWLCSDの技術設備、ネットワーク

、資源、またはその他の電子のもしくは社会的メディアを悪用していると信じる理由がある場合、管理者はWLCSDネットワーク管理者に、WLCSD人事部次長および/またはWLCSD管理者が指名する者が、利用者によるWLCSD技術設備、ネットワーク、資源またはその他の電子のもしくは社会的メディアの使用を確認するため、そのアカウントへのアクセスを要求できる権限を有します。また、WLCSDのネットワーク管理者は、WLCSDの技術設備、ネットワーク、リソース、またはその他の電子のあるいは社会的メディアの不正使用を、WLCSD人事部次長および/またはWLCSD管理者指名者に報告する責任を負っています。

2B. WLCSD教育者の責任

WLCSDネットワーク、テクノロジー機器、リソース、またはその他の電子のもしくは社会的メディアを使用している教育者は、インターネットとWLCSDネットワーク、テクノロジー機器、リソース、またはその他の電子のもしくは社会的メディアの安全で責任ある使用について生徒に教える責任を負っています。教育者は、生徒のWLCSDネットワーク、技術設備、資源、またはその他の電子のもしくは社会的メディアの使用を監視し、生徒がWLCSDネットワーク、技術設備、資源、またはその他の電子のもしくは社会的メディアを不適切に使用している場合に介入する責任を負います。教育者は、本書に記載されている「許容される使用と許容されない使用、その他の電子・社会的メディア」（第3項、第4項）を学生が理解し、遵守することを確認する必要があります。教育者が、生徒が技術利用方針およびガイドラインを遵守していないと信じる理由がある場合、教育者は、生徒によるWLCSDネットワークまたは他の電子のもしくはソーシャルメディアの使用を確認するために、WLCSDネットワーク管理者が教育者のWLCSDネットワークアカウントへのアクセスを許可するよう要求する権利を有します。また、教育者は、違反があった場合、教育者の所属するWLCSDの校舎管理者または監督者に報告する責任を負います。

2C. WLCSDの学生の責任

WLCSDの技術設備、ネットワーク、リソース、またはその他の電子的あるいは社会的メディアを使用する生徒は、インターネットとWLCSD技術設備、ネットワーク、リソース、またはその他の電子的あるいは社会的メディアの安全で責任ある使用について学ぶ責任があります。学生は、WLCSDのテクノロジー機器、ネットワーク、リソース、またはその他の電子的もしくは社会的メディアを適切に使用する責任を負います。学生は、本書（第3項及び第4項）に記載されている「許容される使用及び許容されない使用、その他の電子的又は社会的メディア」を遵守しなければなりません。学生が技術利用方針およびガイドラインに従わない場合、WLCSDは、WLCSDの技術機器、ネットワーク、リソース、またはその他の電子もしくはソーシャルメディアに対する学生の特権を停止する権利、および正当な理由がある場合は懲戒を課す権利を有します。

3. 使用可能な用途と使用不可能な用途

WLCSDの利用者が利用できるWLCSDネットワークのリソースは、WLCSDの教育目的にのみ使用されるものとします。利用者は、WLCSDネットワークの資源を、WLCSDの教育目的でないいかなるファイルの保存にも使用しないでください。

ユーザーがWLCSDネットワーク、テクノロジー機器、リソース、またはその他の電子的または社会的メディアを使用することは容認されません。

- じゅんかい
- 営利活動・募金活動
- 脅迫・嫌がらせのメッセージ送信
- 技術や通信ネットワークへの不正なアクセスの取得
- テクノロジー機器、ネットワーク、リソース、またはその他の電子もしくはソーシャル・メディアの運営を妨害すること（テクノロジー機器またはネットワークにウイルスを設置することを含みます）。
- 性的に露骨な、わいせつな、またはその他の不適切な素材にアクセスしたり、共有したりすること。
- たいしょうがつぼうちょう
- WLCSDのテクノロジー機器、ネットワーク、リソース、またはその他の電子メディアやソーシャル

- メディアに不正にアクセスしようとする事。
- 他のユーザーのアカウントでログインすること、または他のユーザーのパスワードやファイルにアクセスしようとする事。
- 誹謗中傷の送信
- 知的財産権の侵害を含む違法行為を助長すること。
- WLCSD教育プロジェクトに特に関係のないファイル、ソフトウェア、またはその他の電子的もしくは社会的メディア（MP3またはその他の音楽ファイルを含むがこれに限定されない）をダウンロード、アップロード、または配布すること。
- 地域、連邦または州の著作権法に違反するファイル、ソフトウェア、その他の電子またはソーシャルメディアのダウンロード、アップロード、または配布。
- の同意なく、ファイルやソフトウェアをダウンロードすること。

WLCSD 情報技術部

他の通信形態と同様に、WLCSDの技術機器またはネットワークは、セクシャルハラスメントを禁止するものなど、既存のWLCSD方針の下で不適切なメッセージまたは他のデータを送信または保存するために使用することはできません。利用者は、WLCSDの技術設備またはネットワーク上で、不快とみなされるメッセージまたはその他のデータを作成、送信、保存してはならず、性的な内容を含むもの、または個人または集団の年齢、人種、民族、性別、性的指向、宗教または政治信条、国籍、障害などを不快に訴えるものであってはなりません。利用者は、武器や爆発物などの危険な装置に関するメッセージをWLCSDの技術設備またはネットワーク上に作成、送信、保存してはならない。利用者は、WLCSDの技術設備またはネットワークにおいて、この種のメッセージ、画像またはその他のデータを受信またはダウンロードすることに対して、あらゆる合理的な予防措置を講じる必要があります。利用者は、WLCSDのメールをWLCSDの教育目的とは無関係の大量メール送信に使用することを控えなければなりません。

4. その他の電子メディアまたはソーシャル・メディア

ソーシャルメディアを使用するWLCSDユーザー（以下を含むが、これに限定されない。教育およびその他のWLCSD関連目的のためのFacebook、Twitter等での利用は、この文書（第3項）に記載されている許容される利用、許容されない利用に拘束されます。）電子メディア及びソーシャルメディアの性質を考慮し、以下の追加的なWLCSDの基準及び規則が適用される。

1. WLCSDの職員が教育またはその他のWLCSD関連の目的でソーシャルメディアを使用することを希望する場合は、職員の校舎管理者または監督者から事前の承認を得なければなりません。2011年7月1日以前に教育またはWLCSD関連の目的でソーシャルメディアの使用を開始したWLCSDの職員は、それを継続する前に職員の校舎管理者または監督者の承認を得なければなりません。
2. 教育またはWLCSD関連の目的でソーシャルメディアを使用するWLCSDの職員は、職員のサイトと投稿、および職員の通信員の投稿を完全に確認するために、職員の校舎管理者または監督者に提供する必要があります。
3. WLCSDの職員は、教育・ビジネス用のサイトや通信を個人用のサイトや通信と組み合わせることはできません。
4. WLCSDの職員は、匿名または偽名で通信するのではなく、名前を名乗らなければなりません。
5. WLCSDの従業員と学生は、電子メディアとソーシャルメディアはプライベートなものではなく、投稿は何年も後にアクセスされる可能性があることを心に留めておく必要があります。これらの理由から、電子メディアやソーシャルメディア上のコミュニケーションは、学校でのコミュニケーションと同じ基準が適用されます。
6. WLCSDの職員は、勤務時間中にソーシャルネットワーキング活動の個人的な使用に参加することはできません。

5. プライバシーを尊重しない

WLCSDの教育またはWLCSD関連の目的で使用されるWLCSDのリソース、サイト、投稿はWLCSDの所有物であり、技術利用方針とガイドラインに準拠して使用されるものとします。WLCSDネットワーク管理者、および/または他のWLCSD被指名者は、すべてのユーザーのネットワークホームディレクトリ（H.D.）を検査する権利を保持します。ドライブ）およ

びその中に含まれるファイル、またはユーザーの電子メール。削除されたメッセージも含め、ディスカッション・フォーラムのメッセージは定期的にアーカイブされ、WLCSDネットワークから取り出すことができますので、ユーザーの皆様にはご承知おきください。また、WLCSDのインターネットファイアウォールは、ローカルエリアネットワークとインターネット間を移動するすべてのデータを自動的にチェックし、WLCSDネットワーク上の送信先と受信先のログを記録します。WLCSDの教育またはWLCSD関連の目的のためにWLCSDの技術設備、ネットワーク、リソース、またはその他の電子またはソーシャルメディアを使用することは、WLCSDネットワーク管理者およびその他のWLCSD被指名者が、ユーザーが作成するすべてのファイル、ユーザーが投稿または受信するすべてのメッセージ、およびユーザーがアクセスするすべてのウェブサイトを監視および検査することに同意したものと見なされます。

6. ソフトウェアの展開とインストール

WLCSDの技術機器、ネットワーク、またはデバイスへのすべてのソフトウェアのインストールは、WLCSD情報技術部門によって独占的に行われる必要があります。他の利用者は、WLCSDの技術設備、ネットワーク、またはデバイスにソフトウェアをインストールすることはできません。WLCSDの技術機器、デバイスまたはネットワークサーバーへの標準化及び/またはインストールを評価されているソフトウェアプログラム及び技術機器は、WLCSD情報技術部門により互換性、リソース配分及び展開についてレビューされなければなりません。地方、連邦、および州の著作権法を遵守するために、WLCSDの技術機器、ネットワーク、またはデバイスにインストールするよう要求されたすべてのソフトウェアは、WLCSD情報技術部門に適切なライセンス文書が提出されている必要があります。

7. パスワード

各ユーザーは、WLCSDのガイドラインに従って作成されたパスワードを使用し、維持することが求められる。パスワードは、WLCSDの技術機器、ネット

ワーク、およびWLCSDネットワーク内に存在し、パスワードアクセスを必要とするその他のリソースにアクセスするために使用されます。利用者は、利用者のパスワードが他の利用者に悪用されないように、その秘密を保持するための措置を講じなければなりません。ユーザーは、自分のパスワードが誰かに発見されたと疑われる場合、直ちにパスワードを変更する必要があります。WLCSDのユーザーは、自分のアカウント内のすべての活動に対して責任を負います。

8. 違反行為

これらの違反のガイドラインを遵守しない場合、利用者のWLCSDネットワークアカウントの解除を含むがこれに限定されない懲戒処分の対象となることがあります。 WLCSDは、すべての利用者による不適切な行為があった場合、建物または組織の管理者に通知します。また、WLCSDは、WLCSDの教育またはWLCSD関連の目的で使用されるWLCSDの技術機器、ネットワーク、またはその他の電子またはソーシャルメディアを通じて行われる違法行為について法執行機関に通知し、違法行為に関するいかなる捜査においても地方、州または連邦当局と完全に協力するものとします。

9. 免責事項

WLCSDは、WLCSDのテクノロジー機器、ネットワーク、サービス、リソース、またはその他の電子のもしくは社会的メディアについて、明示的または黙示的にいかなる種類の保証も行いません。WLCSDは、以下を含むがこれに限定されない、発生したいかなる損害に対しても責任を負いません。サービスの遅延または中断によるデータの損失、WLCSDの技術設備、ネットワーク、リソース、またはその他の電子のもしくは社会的メディアに保存されているデータの損失、またはWLCSDの技術設備、ネットワーク、リソース、またはその他の電子のもしくは社会的メディアにアクセスするために使用されている個人の所有物への損害。WLCSDネットワークまたはインターネットを通じて収集されたWLCSD技術設備、ネットワーク、またはリソース、あるいはその他の電子のまたは社会的メディアに保存された情報の正確性、性質、または品質、WLCSDが提供する技術設備、ネットワーク、リソース、あるいはその他の電子のまたは社会的メディア

アにアクセスすることによって発生した不正な金銭的債務。さらに、WLCSDが技術的または手動的な手段を用いて学生のアクセスを制限することがあっても、これらの制限はこの技術利用およびガイドラインの規定を実施するための確実な手段を提供するものではありません。このWLCSDテクノロジー利用規約およびガイドラインのすべての条項は、地方、州および連邦の法令に従属するものです。

この方針は、州および連邦政府の電気通信に関する規則に準拠しています。当地区はCIPAに準拠しています。

WLCSDのテクノロジー機器は、プロフェッショナルな方法で手入れをし、維持されなければなりません。従わない場合は、返還および/または懲戒処分の対象となることがあります。

私は、上記のWLCSDテクノロジー利用ポリシーとガイドラインを理解し、同意します。また、私は、WLCSDテクノロジー利用ポリシーおよびガイドラインに従わない場合、懲戒処分および/またはWLCSDネットワークアカウントの無効化の根拠となる可能性があることを理解しています。

サイン

ここに名前を印刷

建物

日付 (MM/DD/YY)

